



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3621 号 2017.4.27 発行

認知症看取り、体験者らが「集い」 ADI 京都会議始まる



京都新聞 2017年04月26日

3月に開かれた「いちょうの会」。認知症の人を看取ったり、看取りを控えた家族が気持ちを語り合った（京都市上京区、京都社会福社会館）

認知症の人を看取（みと）った家族同士で死別の悲しみを癒やしたり、終末期に臨む介護者に助言したりする集いの場を、「認知症の人と家族の会京都府支部」（京都市上京区）が昨年秋に立ち上げた。認知症介護では、本人から延命治療などの意思確認がとりづらく、判断に迷う家族も多い。左京区で26日午後には始まる国際アルツハイマー病協会（ADI）国際会議でも、分科会などで認知症の終末期ケアの議論が深められる予定だ。

集いの名は、荘厳や鎮魂といった樹木のイメージにちなんで「いちょうの会」。府支部の男性2人が中心になって設けた。

その一人、西京区の中島良明さん（77）は妻の紀美子さんを13年間介護し、一昨年10月に75歳で亡くした。心にぽっかり開いた穴。毎月通っていた支部の集いは介護中の家族が悩みを語る場で、「居場所がない」と足が遠のいた。そんな時、看取りを終えた認知症家族が対象のグリーフ（悲嘆）ケアの場が他県にあると知り、「少しでも気持ちが和らぐ場を作ろう」と昨年11月に初会合を開いた。

先ごろの2回目には京都、滋賀の約20人が参加。徘徊や妄想があった母を5年間介護し、2月に看取った女性は「昨年秋に寝たきりになったが、まだ何年も生きると思っていた」と泣きだした。中島さんは「人の命は自然のままでもいいのでは」と声を掛けた。

口から食事をとれなくなった時、チューブで栄養を送る胃ろうなどの措置をとるか否かは終末期医療の大きなテーマだ。若年性認知症の夫を7年間介護した女性は延命措置の決断を迫られたが、事前に夫の意思を確認したことがなかった。子どもと相談し、自然に看取ろうと決めたが「気持ちが揺れる時があった」と、いちょうの会の集いで打ち明けた。

入院中の母（90）を介護する参加者は、母が「延命治療は不要」と書いたカードを持っていたとしつつ、悩む。「『回復の可能性もあるかも』と考えると、胃ろうは一切いらないと言えない。でも、それでは母の願いに添えない」

会では、在宅で看取りたいという声に「かかりつけ医との連携が大事」との助言が出たり、看護師が「どんな判断をしても気持ちが揺れるのは家族の愛情」と語りかける場面もあった。

次回のいちょうの会は、上京区の京都社会福社会館で7月29日午後1時半から。参加費500円。問い合わせは府支部TEL075（811）8399。

<国際アルツハイマー病協会（ADI）国際会議> ADIと「認知症の人と家族の会」（本部・京都市上京区）が共催し、国立京都国際会館（左京区）で26日にイベント、2

7～29日に全体会や分科会などがある。29日の「人生の最後」と題した分科会（要申し込み・有料）では、日本人発表者が、認知症高齢者の胃ろう造設に対する反応や、アートとともに生きた認知症女性の最後の日々について報告するほか、海外からも緩和ケアなどの発表がある。28～29日のポスター発表（28日午後は無料で一般公開）でも、「終末期ケア」をテーマに国内外の介護施設の現状が紹介される。

てんかん食、9品販売 遠州食品加工協組

静岡新聞 2017年4月26日



鈴木康友市長に取り組みを報告するプロジェクトのメンバー＝25日午後、浜松市役所
販売を開始したてんかん食の練り製品や麺類



遠州地方の食品関連会社30社が加盟する遠州食品

加工業協同組合（岡安俊成理事長）は25日、地域食材を使って開発したてんかん患者向けの加工食品9品の販売を特設ブログ上で始めた。同日、浜松市役所で鈴木康友市長に取り組みを報告した組合員は「家族も一緒に食べられるよう工夫し1年以上かけてやっと販売にこぎつけた。全国の患者が食の楽しみを感じてくれたら」と話した。

9商品は、発作に影響する糖質を極力削減するよう工夫した。魚秀（西区）の練り製品「浜名湖イカゲツ揚げ」などはみりんやでんぷんが未使用で、空屋食品（同）の「ギャバアップ麺」は従来品から糖質を半減した。田町梅月（同）の洋菓子「低糖質ブッセ」も糖質を9割近く削減し、甘い物を食べる楽しみを実現した。

糖質を低減したてんかん食は、投薬治療や手術後も発作が起きる難治性患者らに必要とされている。同組合は加盟企業の従業員に患者がいたため、2016年から9社によるプロジェクトを進めている。試作品を味わって助言し、開発に貢献した患者の会社員大下剛史さん（36）は「個人で食品開発は難しい。プロの手で作られているので安心して口にできる」と食の幅が広がることを喜んだ。注文や問い合わせは特設ブログ<<http://gabaup.hamazo.tv/>>へ。

約4カ月、けいれんが頻発して苦しんでいた障害のある息子（11）の発作がほぼ収まった

西日本新聞 2017年04月26日

約4カ月、けいれんが頻発して苦しんでいた障害のある息子（11）の発作がほぼ収まった。特別支援学校への通学を再開したものの、妻がマイカーで行き帰りを送迎する日々も戻ってきた。往復約30キロを1日2回。息子のよう、たんの吸引など医療的ケア（医ケア）が必要な子どもは、スクールバスの利用が限られているのだ。

学校には医ケアに携わる看護師がいる半面、バスへの配置はなし。調子が良ければたんが出ない息子はここ数年、帰宅時だけバス利用が認められていたが、けいれん騒ぎで様子見…となった。運転を苦しめない妻でも負担は相当なもの。そもそも免許を持たなかったり、不慣れだったりする親も少なくない。

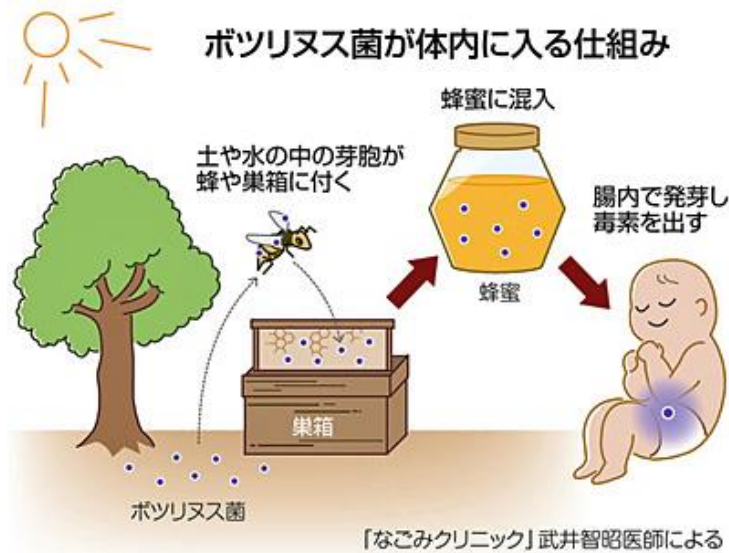
こうした障害児支援のため医療や教育の連携推進を自治体の努力義務とする法律が施行されて間もなく1年。マイカーがなくても子どもの通学を保障する学校が増えてほしいと切に願う。（三宅大介）

1歳未満 蜂蜜与えないで 乳児ボツリヌス症で6カ月男児死亡

中日新聞 2017年4月25日

東京都の生後6カ月の男児が蜂蜜の摂取が原因で死亡したとみられることを受け、厚生労働省などが1歳未満児に蜂蜜を与えないよう注意を促している。蜂蜜には強力な毒素を出すボツリヌス菌が混入していることがあり、消化器官が未熟で腸内環境が整っていない赤ちゃんが口にすると、乳児ボツリヌス症になる恐れがある。ただネット上では、蜂蜜入りの離乳食のレシピが紹介されるなど危険性の周知徹底がされていない。(細川暁子)

都の発表によると、男児は2月にけいれんと呼吸不全で救急搬送され、乳児ボツリヌス症と診断された。3月末に死亡し、男児の便や自宅の蜂蜜からボツリヌス菌が検出された。男児は生後5カ月ごろからジュースと一緒に1日2回、計約10グラムの蜂蜜を与えられていた。蜂蜜のラベルには1歳未満には与えないよう注意書きがあったが、家族は「与えてはいけないと知らなかった」「体に良いと思ってあげていた」と話していたという。都によると、統計で確認できた1986年以降、乳児ボツリヌス症は全国で36例あり、死亡は初めてだった。



感染症に詳しい小児科医で横浜市の「なごみクリニック」院長の武井智昭医師によると、ボツリヌス菌は殻で覆われた「芽胞(がほう)」と呼ばれる状態で土や水の中に存在。土ぼこりなどで芽胞が舞い上がって蜂や巣箱につき、製造過程で蜂蜜に混入することがある。菌は酸素が少ない場所を好むため、蜂蜜入りの瓶など密閉容器で増殖しやすい。120度以上で一定時間加熱すると死滅するとされるが、家庭の調理では難しい。

乳児が菌の芽胞が含まれた蜂蜜を摂取すると、腸内で発芽して強い毒素が排出される。1歳未満は免疫が弱く消化吸収機能も未熟なため、特に菌が増殖しやすい。1歳以降は、腸内細菌が増えていくため、菌の発芽や繁殖を抑えられるという。

菌の毒素は筋力を衰えさせ、感染すると腸の働きが弱くなる。乳児ボツリヌス症の初期症状は3日以上の上痢が続くことが特徴で、次第に哺乳力が弱くなったり首や頭を支えられなくなったりする。

ボツリヌス菌は蜂蜜だけでなく野菜の表面などにも付着する可能性があり、国立感染症研究所によると、過去の症例で自家製野菜のスープや井戸水が原因と推定されたケースもあった。

菌が増殖、腸にダメージ ネットに誤ったレシピ

厚生労働省は1歳未満に蜂蜜を与えないよう1987年に各都道府県に通知を出し、今回の死亡事故を受けて改めて注意喚起を行った。母子手帳にも注意書きがあり、乳児健診などでも指導されている。

約70の蜂蜜業者が加盟する一般社団法人「全国はちみつ公正取引協議会」によると、商品に注意ラベルを貼る義務はないが大半の業者が1歳未満に蜂蜜を与えないよう表示している。

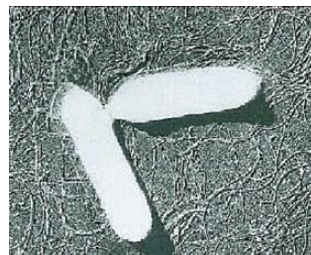
ただ、インターネットのレシピ紹介サイトでは離乳食に蜂蜜を使った調理例が多数掲載

されている。

武井医師は「ネットのレシピには誤った情報も多く、赤ちゃんの祖父母世代では危険性を知らない人も多い。蜂蜜に限らず、抵抗力の弱い赤ちゃんが口にする食の安全性について、消費者には正しい情報を見極める力が求められている」と話している。

強力な毒素を持つボツリヌス菌（東京都福祉保健局提供）

ボツリヌス菌 「自然界で最強」と言われる毒素を産出。大人の場合は、体内に「芽胞」と呼ばれる状態で菌が入っても腸内細菌の働きで発芽は抑えられる。大人の食中毒では血清による治療も行われるが、乳児は副作用が懸念されるため菌が体外に排出されるのを待つしかない。乳児ボツリヌス症の致死率は1～3%程度とされる。



藤田保健衛生大が「アレルギーセンター」 診療科横断で難症対応

中日新聞 2017年4月25日

名古屋・坂文種病院に設置 高度な検査も強み

藤田保健衛生大（愛知県豊明市）は1月、複数の診療科が連携してアレルギー患者を診療する「総合アレルギーセンター」を、同大の坂文種（ばんぶんたね）報徳会病院（名古屋市中川区）に設置した。花粉症や気管支ぜんそく、食物アレルギーなど、複数の症状がある人が多い半面、分野を横断して診療ができる医療機関は少ない。1人の患者に対し、症状に応じて各科が共同で治療に当たる体制を整えた。（稲田雅文）

愛知県の男性会社員（43）は昨年五月、食事後に強いアレルギー症状が出て入院。その後から、食事の後にのどが苦しくなったり、腹痛や下痢などの症状が出たりするようになった。

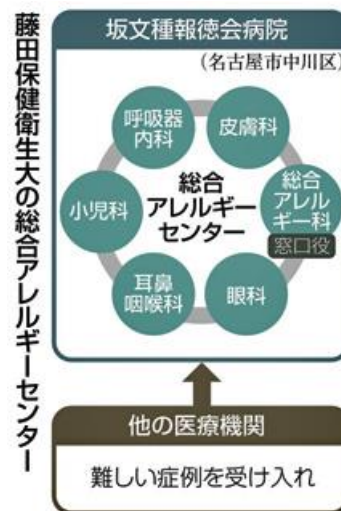
もともと食物アレルギーをはじめ複数のアレルギーがあり、食事の際はアレルゲン（原因物質）を避けている。それでも症状が出るため、かかりつけの病院では原因が分からず「ストレスでは」と言われた。

納得できない男性は、総合アレルギーセンターに足を運んだ。総合アレルギー科の矢上品子教授（47）は、他の診療科の医師とも相談し、内視鏡検査を実施。消化器官の組織を採取して調べると、アレルギー反応が起きたことを示す細胞が多く存在し、消化器官に原因があることが判明した。治療はこれからだが、男性は「原因が分かると前向きになれる」と喜ぶ。

センターには、総合アレルギー科のほか、呼吸器内科と皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科が加わる＝図。「どの科に行けばいいのかわからない」という患者は、矢上教授が窓口となり、何に悩んでいるかなどを聞き取って各科の医師を紹介。診断が難しいケースは、各科合同の会議を開いて、それぞれの専門の視点から検討する。一般的な診療では対応が難しい症例は、大学の研究として原因を調査することもできる。

大学病院ならではの高度な検査を受けられるのも特徴だ。子どもどころから魚介類などの重い食物アレルギーがある名古屋市の女性会社員（30）は、治療で少しずつ症状が改善している。

以前は、つゆに魚介類のだしが使われたうどんを食べただけで、ぜんそく発作などが出た。食事の際は魚は完全に除去するのが当たり前だったが、ぜんそくの治療で通っていた同病院の呼吸器内科の医師から「食物アレルギーの治療もできる」と小児科の近藤康人教授（54）を紹介された。



何がアレルゲンになっていそうなのかは血液検査で調べられる。一般的な病院では数種類の品目にとどまるが、センターではマグロやサバ、イカ、サメ、ツナ缶、魚卵など六十以上の品目について調べられる。

女性の場合、カジキなど食べられそうな品目があった。入院して魚を食べ、どのくらいの量ならアレルギーが出ないかを確認する「経口負荷試験」も受けた。

アレルギーが出にくくした治療用の魚エキスを数カ月食べることでサケフレークが食べられるようになり、今も毎日グラムを食べている。専門医の指導でアレルギーの克服を目指す「経口免疫療法」だ。今ではだしなど微量でアレルギーが出ることはなくなり、ときどきカジキの煮付けを食べるようになった。

女性は「他の病院では『魚は食べないで』と指導されて終わりだった。以前のように思いがけず症状が出るのがなくなり、助かっています」と語る。

矢上教授は「アレルギーで困っている成人は多いが、どこに相談してよいか分からずあきらめている人が多い。他の医療機関で治療が困難な患者も受け入れたい」と語る。

アレルギー 体内に入った病原体などの異物から体を守る免疫機能が過剰に働き、慢性的な炎症を起こす疾患。国民の半数がかかっているとされる。2015年12月施行のアレルギー疾患対策基本法では、気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、食物アレルギーの6疾患の対策を掲げ、国は適切な治療が受けられる拠点病院を全国に整備する方針を示している。

「大人の悪いところ」は「考えを押しつける」「間違いを認めない」 新潟県の中高校生、いずれも4割超

産経新聞 2017年4月26日

小中学生と高校生らを対象に新潟県が3年ごとに実施している青少年健全育成実態調査で、大人の悪いところを「子供の話を聞かないで自分の考えを押しつける」「自分の間違いを素直に認めない」と思っている中高生が、それぞれ4割以上に上ることが分かった。大人に厳しい評価が突きつけられた格好だが、小学生からは「悪いとは思わない」との回答も約3割あった。

調査は昨年9月、同県内の小学5年521人と中学2年502人、高校2年546人、保護者1569人の計3138人に実施。回収率は92.5%だった。

14の選択肢から複数回答で大人の悪いところを尋ねたところ、全年代で最も多かったのは中2の半数近い48.0%が指摘した「考えを押しつける」で、高2も40.8%あった。高2の回答での最多は「間違いを素直に認めない」で43.9%を占めた。中2も41.4%にのぼり、小5は23.0%だった。小5の回答での最多は「イライラして怒りやすい」で38.1%あった。

この調査項目について、県青少年育成係の担当者は「子供の考えを把握するのが目的」としており、保護者に参考にしてもらえれば良いとの考えだ。

このほか、喫煙の経験があったとした回答は小5が1.2%、中2が1.0%、高2が2.7%で、平成25年の前回調査より中2と高2で減少し、小5が横ばいだった。飲酒経験は小5が16.4%、中2が21.5%、高2が22.2%あったものの、全年代とも前回調査より減少した。



「#東北でよかった」のハッシュタグで東北の魅力を紹介する投稿（ツイッターから）

「#東北でよかった」。東日本大震災の被災者を傷つけ、26日に復興相を辞任した今村雅弘氏の発言を逆手に取り、東北の本当の良さを表現した画像や短文が、ツイッターに続々と投稿されている。古い街並みや満開の桜といった魅力的な画像であふれ、インターネット上で「すてき」「心底感動した」と共感が広がっている。

ツイッターは「#」を付けた単語をハッシュタグと呼び、これを付けて投稿すると、キーワードとして検索や閲覧がしやすくなる。26日午後2時の時点で「#東北でよかった」というハッシュタグを付けた投稿は7万件を超えた。



貧困層にベーシックインカム試験導入、カナダ・オンタリオ州

時事通信 2017年4月26日

【モントリオールAFP＝時事】カナダのオンタリオ州は24日、貧困層を対象とするベーシックインカム（最低所得保障）制度の試験導入開始を発表した。受給者と公共財政への影響を測る。

貧困ライン以下で生活する4000人を対象に3年間にわたって支給される。同州のキャスリーン・ウィン州首相は「ベーシックインカムが人々の暮らしに良い影響をもたらすかどうか見極めたい。オンタリオ州の経済成長の恩恵はすべての人が受けるべきだ」と述べた。

収入を補助する額は各年、単身者の場合で1人当たり最高1万6989カナダドル（約140万円）、夫婦で最高2万4027カナダドル（約195万円）で、障害者にはさらに6000カナダドル（約50万円）が支給される。同州では試験事業全体にかかる額を年間5000万カナダドル（約40億ドル）と見積もっている。

オンタリオ州はカナダで最も人口が多く、同国の全人口3650万人のうち38%が居住している。一方、カナダ統計局によると、オンタリオ州の住民のうち13%が貧困ライン以下で生活している。【翻訳編集AFPBBNews】〔AFP＝時事〕

障害者との対応円滑に 県教委が支援ボード

わかやま新報 2017年04月26日

県教育委員会は、障害のある人との円滑な対応を図るため、「来客対応用コミュニケーション支援ボード」を県内の幼稚園、保育所、小中高校、特別支援学校に配布する。

県教委特別支援教育室によると、障害者差別解消法の施行を受け、適切な対応の促進と

理解を啓発するために作成。「どうされましたか?」と大きく書かれた支援ボードには「道を教えて」「筆談をお願いします」「トイレに行きたい」などの言葉とイラストが描かれ、指をさしたり直接書き込んだりすることで、会話でうまく意思を伝えられない人とコミュニケーションが図れる。



県教委が作成した支援ボードの一部

県障害福祉課が作成した「コミュニケーションボード」を学校向けに一部変更した。「体育館に行きたい」「成績証明書がほしい」など学校で要望の多い事項を加え、教育機関仕様に整えた。また、付属のマニュアルでは、困っている人への声の掛け方や障害に合わせた対応のポイントを説明。教職員もマニュアルを基に実践できる。

支援ボードはラミネート加工して4月下旬ごろに県内の各学校に配布する予定。

県教委ホームページ (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500100/>) から取得できる。

障害者と地域つなぎ40年 別府 サンストア

大分合同新聞 2017年4月27日

今年で40周年を迎えるスーパー「サンストア」＝別府市内竈



別府市内竈の社会福祉法人「太陽の家」が運営するスーパー「サンストア」は本年度で創業40周年を迎える。開



店以来、身体・精神・知的の障害者が店員として働く。利用者からは「一生懸命に働く姿に感動する」「笑顔に癒やされる」と好評で、障害者と地域住民をつなぐ「窓口」として定着している。

サンストアは1977年12月、国内で初めて車椅子の障害者が働くスーパーとして開店したという。2011年からは県道亀川鉄輪線に面した現在の場所に移転した。売り場面積は約950平方メートル。トキハイインダストリー（本社・大分市）が協力し、接客の研修や販売促進業務を支援している。

10年には障害者と雇用契約する就労継続支援A型の事業所として認可された。現在はレジや商品の陳列などをとする障害者16人（男性2人、女性14人）と、健常者6人が働く。利用客は1日平均で約900人。売り上げは現在の場所となった11年度から5年連続で前年度を上回り、安定している。

創業祭は11月に開催予定。05年から店長の役割を担う田村秀喜サンストア課長は「障害者がこれほど外部の方々と触れ合う職場はない。胸を張って働いている」と話す。同店で働いて35年目で「障害者のリーダー的存在」（田村課長）という薬師寺智子さん（72）は「亀川地域に支えられ、育ててもらった店。障害者と健常者の境目をなくしてくれた」と笑顔が絶えなかった。

陽光会問題、改善報告書は「不十分」 鹿児島市再提出を要求【鹿児島県】

西日本新聞 2017年04月27日

理事会議事録の偽造など不適正運営を繰り返していた鹿児島市の社会福祉法人・陽光会

は、市から求められていた改善に向けた報告書を提出したが、市は内容が不十分だとして再提出を求めた。森博幸市長が26日の定例記者会見で明らかにした。市長は、陽光会に対する調査を継続する姿勢を強調した。

陽光会が提出した報告書は4月24日付。森市長は内容の詳細は「調査中」として明らかにしなかったものの「適正な対応をしているのか不明な点がある」と述べた。その上で、市長が以前に問題視した陽光会の不明朗な内部体質が改善したかを問われると「一定の改善はしているが、市のいろいろな指摘に対して、しっかりと対応されていない」と説明した。

一連の問題を受け手続きが停止している陽光会の特別養護老人ホーム事業について、市長は今後継続する調査の結果を踏まえて判断する考えを示した。

陽光会は保育園と特養の両事業に応募する際、実際は開いていない理事会で承認を得たと議事録を偽造したほか、理事の交通費を装い支出した資金をプールするなどの不適正運営を繰り返したことが発覚。3月24日付で市から改善勧告を受けた。

社説：「こども保険」／提言への理解はできるが 神戸新聞 2017年4月26日

社会保険料率を引き上げ、子育て支援拡充の財源に充てる「こども保険」の創設を、自民党の若手議員が提言した。

家庭環境にかかわらず子どもが必要な支援を受けられるよう、幼児教育や保育を実質的に無償化する制度だ。党内で夏までに一定の結論を出し、政府の経済財政運営の指針「骨太方針」に反映させたいという。

急速な少子化に歯止めをかけるには、若い世代が安心して子どもを産み育てられるための政策の後押しが不可欠だ。教育無償化は格差解消にも結びつく。社会全体で支えようという考え方は理解できる。

国も地方も財政難に直面する中で、財源確保が最大の課題だ。民進、日本維新の会など各党も案を出しており、与野党で議論を深めてもらいたい。

「こども保険」案の試算では、現行の社会保険料に0・1%上乗せすれば約3400億円を確保でき、すべての未就学児の児童手当を月額5千円増やせる。0・5%まで引き上げれば約1兆7千億円を捻出でき、児童手当を1人当たり2万5千円増額することで、幼児教育や保育の実質無償化が実現する一としている。

自民党内では教育に使い道を絞る「教育国債」が提案されたが、借金の負担を将来に先送りすることになる。自民、民進両党には消費税率を10%に引き上げた際の増収分を活用する考えもあるが、社会保障財源にも影響が及ぶ。そこで「こども保険」が浮上した。

しかし課題も少なくない。この案では子どものいない世帯も保険料を負担することになる。社会保険制度は誰もが向き合う病気や老後への備えであり、趣旨が異なるとの指摘も出ている。国民の納得が得られる仕組みを模索せねばならない。

高齢化の加速により、社会保障施策の比重は高齢者に傾いている。「こども保険」構想には、世代間の負担と給付のバランスを取る狙いもある。

ただ、新たな負担を求める前に、低所得者ほど消費税や保険料負担が重くなるなど社会保障の構造的な問題を解消する努力が欠かせない。予算の配分や優先順位を見直すなど、幅広い視点で知恵を絞りたい。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

